安全性向上

安全管理DX

監視支援

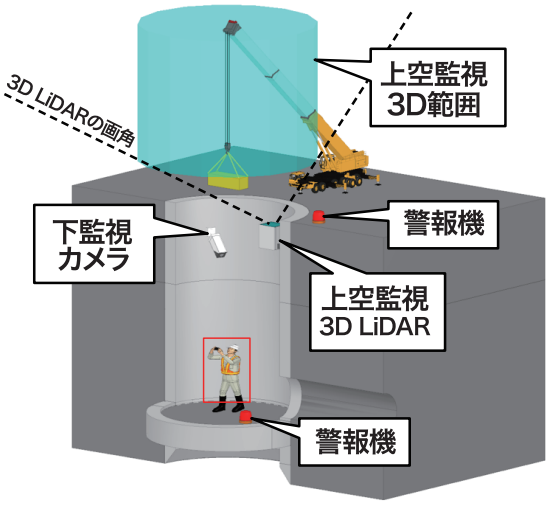
～見通しの効かない場所への
荷役時の安全性を向上～

開口部荷役時警報システム

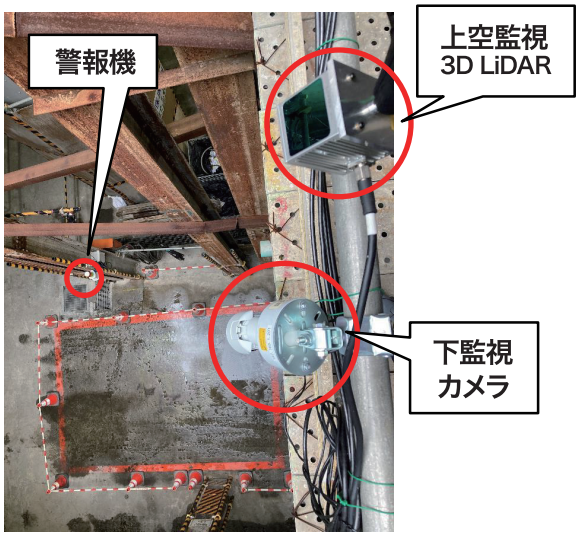
技術の特徴

見通しの効かない場所での荷役作業では、監視員による目視監視や警報装置による安全対策が行われますが、監視員の見落としや作業員の警報慣れが課題となる場合があります。本システムは、LiDARまたはカメラにより2箇所を監視し、**両箇所で同時に動きを検知した場合にのみ警報を発報します。**監視員による監視をサポートすることで、見落としリスクの低減、不要な警報の抑制、および警報慣れの防止を図り、安全性の向上に貢献します。

- LiDARの検知範囲は3次元的に設定できます。
- LiDARの検知範囲内に**物体が進入している間は、静止していても検知し続けます。**
- カメラの検知範囲は2次元的に設定し、**検知範囲内に動くものがあるときだけ検知します。**
- 重機オペレータ運転席に警報を表示させることもできます。
- 開口部荷役時のほか、見通しの効かない場所における各種作業の安全対策にも適用可能です。



監視イメージ（3次元LiDARとカメラの組合せ例）



路面覆工の開口部下の荷役エリアで活用した例

見通しの効かない場所への荷役
～こんな場面で活用できます～

- リニューアル工事における本線上クレーンによる本線外ヤードからの荷役
- 立坑内への荷役
- 路面覆工開口部下への荷役

[お問い合わせ]
土木事業本部土木設計部CIM推進グループ
土木事業本部土木営業第一部
TEL:03-3575-6104

Be a ChangeBuilder.
安藤ハザマ